

## 「川湯一泊旅行」

感想記

今年で2回目の「道東3地区合同交流会」が、9月1日～2日にかけて行なわれ、各地区の希望者が参加して有意義に終了致しました。

また、来年は帯広地区が担当して、開催場所を「阿寒湖畔」と決定致しました。

今回の交流会の感想文を数名の方に書いて頂きましたので、ここで報告させていただきます。

原稿を提出して下さいました方々には御協力ありがとうございました。

## 「川湯一泊旅行の想出」

林田クリニック 佐々木満郎

この度、役員方々のお世話により、三地区合同の一泊旅行に参加させて頂き、ありがとうございました。

日頃お世話になりました市立病院の看護婦さん、先輩の方々が「もつと、もつと」参加下さるものと、実は楽しみに、楽しみに待つて居ましたが、事情により参加出来ず残念に思いましたが、林田先生、宮本婦長さんが参加して下さいて有難く思っています。

私達は仲々皆様方とお会いする機会がなく、この様な時こそ皆さんとお会い出来、色々な話しをして楽しみたいと思いました。

今度の旅行で、先生をはじめ各地区の方々の色々なお話しを聞かせて頂き、良き旅行を楽しみ、有意義に過ごしました。

今日も無事透析が終つたと「ほつと」している毎日ですが、何といたつても「自分の体は自分で守」らねばならず、日頃、気のつかない私ですが、この度の三地区の方々の良き話しを聞き大変勉強になりました。

一時は生死の境をさまよひ、また、失望した事もありましたが、この楽しい旅行、温泉で思う存分の汗を流した気分の良さ、OK牧場で食べた肉のアジ、生きていて良かったと思う時「目にはなみだ」が出て来ます。

人生は「苦」もあれば「楽」もあるとつくづく感じる者です。

体は不健康でも「心は健康」に努め、明年「阿寒湖」でのレクリエーションにと、今から楽しみに待つて居ます。

お互いに充分体に気を付け合つて元気にお会い致しましょう。

## 「半身不随の身より交流会出席」

市立病院 塩田恵子

私は16才の時に交通事故に合い、半身不随の身となり、商人の家庭に嫁いで三人の子供を育てながら健康な人の中にとびこんで、動かない足を引っぱりながら商売と幼い三人の子供の育児に神経を使い過ぎて、47年頃から腎臓が悪くなり、50年1月に尿毒症をおこし、三日間の腹膜カン流をして三ヶ月で退院しましたけれども体が重くて、いつも重い荷物をしょつている感じで三年間、生きる事のきびしさと自己の宿命と頑張つてきました。その後、カゼを引き、また尿毒症をおこし、意識不明になり生死をさまよつている時に「腹膜カン流」をして、初めて「シャント」を作つて頂き53年9月から「透析」をしています。

腎臓病が長く、食事制限で透析して間もなく「骨」がもろく折れている事に気がつき、透析をしながら手術して、骨をささえる「金」を入れて頂き、七ヶ月長い間のベットの上での生活から、松葉杖で外へ出れる様になりました。

釧路地方腎友会では帯広、北見腎友会合同で1年に1回、一泊で旅行するのです。今年は9月1日～2日に川湯の「白樺荘」泊り。

釧路出発午後1時30分。青天に恵まれ、身体の不自由な方は自家用車で、元気な方はマイクロバスの二車で、草原のすがすがしい空気を吸いながら、摩周湖で休みを兼ねて見学、次に硫黄山を見学して白樺荘に午後4時過ぎに到着しました。私し始め皆さんもバスのつかれもなく元気でした。

6時30分から食事をとりながら、林田クリニック院長、婦長さんをお交えて懇談会。自分の健康を守るには、いろいろな人の透析生活、食事方法を知る事も大事です。色々な自己管理方法を話したり、夜中まで遊んだ方も居ます。

次の日・・・また来年も合つた事を期待して元気にそれぞれの方向に帰りました。

私も腎友会の皆様のあたたかい配慮で、二度と旅行など出来ないと思つていた私に、何不自由させないでとても楽しい旅行でした。どうもありがとうございました。

これから「永く生きる」には医師、看護婦さんの指導を守り、自己管理を充分注意して、来年は今年よりもつと多くの方が出席して、旅行を楽しめるものにならないか。